

環境影響評価書の概要

—— 協同乳業株式会社新東京工場(仮称)建設事業 ——

平成 2 年 9 月

協同乳業株式会社

第 1 章 総括

1-1 事業者の氏名及び住所

協同乳業株式会社 代表者 取締役社長 日下 孝之
東京都中央区日本橋小網町17番2号

1-2 対象事業の名称及び種類

名称：協同乳業株式会社新東京工場（仮称）建設事業
種類：工場の設置

1-3 対象事業の内容の概略

本事業は、現在東京都保谷市新町一丁目4番地にある当社の工場（工場棟、事務所棟）を東京都西多摩郡日の出町大字平井字三吉野欠上に移転し建設するものである。

対象事業の内容の概略は、表1-3-1に示すとおりである。

表1-3-1 事業の内容の概略

	工 場 棟	PR厚生棟	研 究 棟
建築面積	11,700㎡	880㎡	1,500㎡
延床面積	16,500㎡	2,400㎡	4,500㎡
最高建物高さ	17.5m	17.5m	17.5m
使用目的	牛乳、乳飲料、乳製品等の調合、殺菌、充填 発酵乳等の調合、発酵及び充填 原料乳、原料資材等の受け入れ	従業員等の厚生施設 製品等の展示	新製品の開発 新素材等の開発 新技術の開発 品質管理 電算管理施設
工事開始予定	平成 2 年 1 0 月		
工事完了予定	平成 4 年 1 月		

1-4 環境に及ぼす影響の評価の結論

地域の概況及び対象事業における行為、要因を考慮し選定した予測・評価項目について、現況調査を行い、対象事業の実施が環境に及ぼす影響について予測及び評価した。

環境に及ぼす影響の評価の結論は、表1-4-1に示すとおりである。

表1-4-1 環境に及ぼす影響の評価の結論

項 目	評 価 の 結 論
大 気 汚 染	工場の操業によるボイラー、発電機等の排出ガスによる計画地周辺での予測結果は環境基準以下であり、環境に及ぼす影響は少ないものとする。 工事の完了後の走行車両による排出ガスの予測結果は環境基準以下であり、環境に及ぼす影響は少ないものとする。
騒 音	工事施行中の建設作業騒音の予測結果は評価の指標(指定建設作業の勧告基準)以下であり、環境に及ぼす影響は少ないものとする。 工場騒音については、操業時の環境騒音が環境基準以下であり、環境に及ぼす影響は少ないものとする。
振 動	工事施行中の建設作業振動の予測結果は評価の指標(指定建設作業の勧告基準)以下であり、環境に及ぼす影響は少ないものとする。 操業による工場振動の予測結果は評価の指標(工場振動の規制基準)以下であり、環境に及ぼす影響は少ないものとする。
水 質 汚 濁	操業による、工場排水の平井川の水質に与える影響については、環境基準点において環境基準を満足するので、影響は少ないものとする。

項 目	評 価 の 結 論	
地盤沈下	工場の操業による地下水の揚水量は適正揚水量を十分下回るため、地盤沈下を発生するおそれはないと考える。	
植 物 動 物	陸上植物	工事の施行による敷地造成等により、現存の植生は改変されるが、計画地内の植生は裸地、畑、果樹園等であり、工事完了後は、敷地周囲及び建物外周に郷土種、花木、景観木等を植栽することにより、新たに緑地が形成される。
	陸上動物	工事の施行による植生の改変により生息環境への影響はあるものの、工事の完了後は、敷地周囲に花木、結実種等の鳥類、昆虫等の生息が確保できる樹種を植栽するため、陸上動物に与える影響は少ないものと考ええる。
	水生生物	工場の操業に伴い平井川へ工場排水を放流するが、平井川の水質に対する影響は少なく、生育環境を変化させることがないので、水生生物に与える影響は少ないものと考ええる。
電波障害	計画建物及び工作物により若干のしゃへい障害、反射障害の発生が予想されるが、工事着手前及び工事完了後に調査を行い万一、電波障害の発生が認められた場合には、ただちに共同受信施設設置等の対処を行うため、影響は解決できるものと考ええる。	
景 観	事業の実施による計画地周辺の環境に与える影響は、計画建物の高さを低くおさえ、周囲に植栽等を行い、周辺の緑との調和を図るので影響は少ないものと考ええる。	

1-5 評価書案の修正の概略

評価書案の修正の概略については、表1-5-1に示すとおりである。

1-5-1 評価書案の修正の概略

修正箇所	評価書案の事項	修正内容及び修正理由
1. 総括 1-3 対象事業の 内容の概略		工事予定時期を変更した。
1-4 環境に及ぼす影 響の評価の結論	植物・動物	植栽計画に基づき、生育環境に及ぼす影響を追加した。
2. 対象事業の 目的及び内容 2-2 事業の内容	緑化計画	植栽計画について記述を追加した。
3. 地域の概況 3-1 一般項目	水域利用	農業用水の取水地点について修正した。
	環境の保全に関する計画等	記載事項の脱字部分を修正した。
4. 予測・評価項目の 選定	史跡・文化財	選定しなかった理由の内容を補足説明した。
5. 現況調査、予測 及び評価 5-2 騒音	評価	建設作業騒音について、改正後の勧告基準に基づき評価した。
	現地調査	水質調査結果で、採水日、天候等について記述を追加した。
	評価	地盤の状況を考慮して、わかりやすく記述した。
	予測結果	植栽計画に基づき予測結果を修正した。
	評価	植栽計画に基づき具体的に記述した。
5-8 景観	予測結果	建築物の色調は、シルバー系のグレーとし、赤系のラインを青系に改めた。
7. 環境保全のため の措置 7-4 水質汚濁 7-6 植物・動物		記述内容を訂正した。
		記述内容を修正した。